

第59回全国高等専門学校体育大会剣道競技競技規則ならびに競技方法について

1. 剣道競技規則について

9月1日付（公財）全日本剣道連盟「試合・審判・運営要領の手引き」の改訂がなされました。本大会が全日本剣道連盟の主催大会ではないこと、地区大会は改訂前の規則で実施していること、改定から間もないことから選手が対応できないことが予想されるなどの観点から、従前とおおり、本大会実施要項記載のとおり、「公益財団法人全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則及び全国高等専門学校体育大会剣道競技専門部申し合せ事項、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法による。」で大会を実施します。

2. 感染症対策について

同日9月1日付で施行される「感染症予防ガイドライン」に従い大会を運営致します。本大会の実施要項の変更はしませんが、感染予防に努めて頂きますようお願いいたします。

本大会では大会申し合わせ事項記載のとおり、必ず面マスクまたはシールドを着用して下さい。

3. 団体の部の代表者戦または個人の部の延長の試合時間について

「時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は、コロナ対策暫定的なルールとして、時間を3分ずつ区切り勝敗の決するまで行う。また、延長2回で1分の休息、さらに延長2回で水分補給を含めた4分の休憩を入れる。」ただし、審判により医療行為が必要と判断された場合には、治療時間は5分とする。

4. 団体の部のリーグ戦の順位決定（代表者戦）について

2校で順位が決まらない場合は、本大会実施要項の記載とするが、3校（三つ巴）で順位が決まらない場合は、選手の体調面を考慮して代表者戦は次のように行う。

試合時間4分（勝負が決まらない場合は引き分け）の勝ち点（勝ち点1点、引き分け0.5点）、取得本数の多い学校を上位とし、順位が決まるまで行う。なお、2校に絞られた場合は、本大会実施要項記載のとおり、「代表者戦は任意の選手による4分1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は、コロナ対策暫定的なルールとして、時間を3分ずつ区切り勝敗の決するまで行う。また、延長2回で休息、さらに延長2回で水分補給を含めた休憩を入れる。」

以上

参考：全日本剣道連盟 HP

<https://www.kendo.or.jp/information/20240806-2/>